

授業科目名	応用トレーニング科学特講演習	授業形態	演習	授業科目区分	応用科目 (スポーツ総合科学)
担当教員名	山地 啓司			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	-	受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	スポーツは総合科学であるため、総合的・多角的にスポーツを観る力(状況判断能力)を持ち、その中に潜む問題点を見出し(課題発見能力)、それをいかに解決するか具体的に道筋をつけ解決する能力(問題解決能力)を身につける。 前記3つの能力を表出するために、博士課程を視座した論文選択とその具体的解決方法を修士論文に結実させる。さらに、プレゼンテーション力を身につける。				
成績評価の方法	学期末試験の成績(%) 出席状況(10%) 授業への取り組み状況(30%) レポート等の提出状況(60%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	1年間のまとめとして、ミニ調査・研究をまとめ、発表する。評価の視点は、修士論文へ繋がるテーマが選択されているか、論文講読を十分行っているか、問題解決のための方法・研究それから発表が出来るか、が特に問われる。				
テキスト、教材 参考書	個人のテーマごとに指示する。				
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)	スポーツに関する知識だけでなく、政治、経済、教育、法学、医学、保険、介護等々の基礎学力を日々に付ける努力をしてほしい。		
オフィス・アワー	毎週授業前・後の1時間				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	山地 啓司	オリエンテーション		研究計画を検討すること	
2	"	論文作成のためのテーマを議論する		個人の研究計画を発表する	
3	"	トレーニング科学の社会へのフィードバック(1)		その計画がどんなことに役に立つかを検討する	
4	"	トレーニング科学の社会へのフィードバック(2)		同上	
5	"	トレーニング科学の社会へのフィードバック(3)		同上	
6	"	テーマが決まり諸論の書き方(1)		論文のテーマから検討する	
7	"	テーマが決まり諸論の書き方(2)		同上	
8	"	テーマが決まり諸論の書き方(3)		同上	
9	"	研究方法1(被験者のインフォームドコンセント)		具体的に作成する	
10	"	研究方法2(被験者の年齢、性別)		被験者を検討する	
11	"	研究方法3(プロトコル)		プロトコルの作成	
12	"	研究方法4(実験の手順等)		手順を書く	
13	"	結果のまとめ方1.統計処理		数とは何かを検討する	
14	"	結果のまとめ方2.図・表の書き方		作図・作表を行う	
15	"	プレゼンテーションと質疑応答1		研究計画について発表する	
16	"	プレゼンテーションと質疑応答2		同上	